

## 令和2年度国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	国語表現 (東京書籍)						
副教材等	パスポート国語必携 四訂版 (桐原書店)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・すべての生活の基本は「ことば」です。「ことば」を大切にできる態度を身につけよう。
- ・社会に通用する国語力 (語彙力・作文力・表現力) の向上を図ろう。
- ・思考力や想像力を伸ばし、社会に通用する言語感覚を磨こう。

## 2 学習の到達目標

- ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育てる。
- ・伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。
- ・進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

## 3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、ことばを尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章が書けている。	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・行動の観察 (学習活動への参加姿勢や態度) ・提出物の確認 (ノート、プリント、ワークシート)	・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・提出物の確認 (ノート、プリント、ワークシート)	・提出物の確認 (ノート、プリント、ワークシート)	・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・提出物の確認 (ノート、プリント、ワークシート)
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

## 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価 の観点				単元 (題材) の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	表現の基礎・進路実現への取組	古典の表現に学ぶ (人類の歴史の中で、文字や言葉、文章が生まれた過程を考え、文章を書く意味について考える。)	○			○	a わかりにくい言葉・表現を辞書で調べ、文章を書く意味について考え、今後の表現活動にどう生かすかを考えている。 d 人類の歴史の中で、文字や言葉、文章が生まれた過程を把握し、古代の文字にはどのようなものがあるか理解している。	行動の観察 提出物の確認
		文章の書き方 (文章の基本的な書き方に沿って、文章を書く。)	○		○	○	a 題材を自分の身の回りから探そうと努めている。 c 自分が書きたい題材を選び、その題材に適した構成で適切に表現しようとしている。 d 文章の基本的な書き方や推敲のしかたを理解している。	行動の観察 提出物の確認

		わかりやすい表現 (わかりやすい文を書く姿勢を身につける。)	○		○	○	a 意味のわかりにくい文について、どうして意味がわかりにくくなっているのか指摘しようと努めている。 c 意味のわかりにくい文について、わかりやすく修正することができる。 d 文の意味がわかりにくくなる要因には、どのようなものがあるか理解している。	行動の観察 提出物の確認
		表現の工夫① (表現技法の表現効果について理解し、表現のしかたを工夫して文章を書く姿勢を身につける。)	○		○	○	a 表現のしかたを工夫して文章を書こうと努めている。 c 表現技法を用いて、文章を書くことができる。 d 表現技法の表現効果について理解している。	行動の観察 提出物の確認
		表現の工夫②(描写を学ぶ) (描写の効果について理解し、風景や人物、出来事について描写を工夫して文章を書く姿勢を身につける。)	○		○	○	a 描写を工夫して文章を書こうと努めている。 c 風景や人物、出来事について、的確な描写の文章を書くことができる。 d 描写の効果および留意点について理解している。	行動の観察 提出物の確認
		敬語の分類 (正しい敬語の使い方を身につけ、適切な言葉遣いで話す。)		○		○	b 敬語に対する自らの意識を表現し、相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。 d 敬語の種類について理解し、敬語が持つ性質の一つである、聞き手に対する配慮について理解している。	行動の観察 提出物の確認
		履歴書の書き方 (履歴書の基本的な書き方に沿って、履歴書を書く。)	○		○	○	a 志望動機などを自分の身の回りから探そうと努め、書き上げた履歴書を、より良いものにしようと工夫している。 c 履歴書の基本的な書き方に沿って、文章を書き、書いた文章を推敲することができる。 d 履歴書の基本的な書き方を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		面接練習 (面接の基本的な受け方に沿って、面接態度を身につける。)	○	○		○	a 履歴書の内容に沿って志望動機などを分かりやすく話そうと努め、面接の受け答えを、より良いものにしようと工夫している。 b 面接の基本的な受け答えの方法に沿って、面接を受けることができる。 d 面接の基本的な受け方を理解している。	行動の観察 提出物の確認
2学期	表現の楽しみ・表現の実践	広告の表現に学ぶ。 (五枚の写真を自由に並べてその情景を想像し、自己独自のストーリーを創る。)	○		○	○	a 写真を自由に並べ、自分が想像した情景を適切に表現しようと工夫し、ストーリーを読み合うことにより、表現することの楽しさを感じている。 c 写真を見てその情景を想像し、自己独自のストーリーを書くことができる。 d 自分が想像した情景を適切に表現するために必要な表現技法を理解している。	行動の観察 提出物の確認

		意見文を書く (レポートの書き方を身につけ、実際にレポートを書き、他の人に発表する。)	○	○	○	○	a 情報の収集からレポートの作成・発表まで積極的に取り組み、他の人の発表内容を的確に聞き取ろうと努めている。 b 書いたレポートを、他の人にわかりやすいように発表することができる。 c レポートの書き方に沿って、レポートを書くことができる。 d レポートとはどういう文章か理解し、レポートを書くのに必要な情報の収集・整理のしかたを理解している。	行動の観察 提出物の確認
		課題作文を書く (明確に自己をアピールする文章の書き方を理解し、自己認識を深めたうえで、明確な自己アピールとなる文章を書く。)	○		○	○	a 自分自身についての認識を深めようと努め、書き上げた文章を、より良いものにしようと工夫している。 c 題目に即して、明確な自己アピールとなる文章を書くことができる。 d 課題作文とはどういう文章か把握し、課題作文の書き方を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		小論文を書く (小論文の特徴と書き方を理解し、実際に小論文を書いて相互批評を行う。)	○	○	○	○	a 小論文で自分の考えを述べようとしている。書き上げた文章を、より良いものにしようと工夫している。 b 他の人の小論文を読み、評価・批評をしようとして努めている。 c 小論文の書き方に添って、小論文を書くことができる。 d 小論文とはどういう文章か理解している。小論文の書き方を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		発表する (スピーチ形式の意見発表のしかたを理解し、実際に自分の考えを発表する。)	○	○		○	a 自分の意見をわかりやすく伝えるための十分な準備に努め、他の人の発表を丁寧に聞こうとしている。 b 聞き手にわかりやすく自分の意見を述べ、他の人の発表内容を的確に聞くことができる。 d 自分の考えを発表したり、他の人の発表を聞いたりする際の留意点を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		討論する (話し合いの手順を理解し、実際に話し合いを行う。)	○	○		○	a テーマに関する自分の意見をまとめ、話し合いに参加しようとして努めている。 b 適切な言葉遣いで自分の意見を述べ、他の人の意見を的確に聞き取り、問題をさらに深める発言をすることができる。 d 話し合いに臨む態度・司会者と記録者の役割・話し合いの形式とその進め方について理解している。	行動の観察 提出物の確認

		ディベートをする (ディベートの形式と手順を理解し、ディベートを行う。ディベートを通して、論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性を理解する。)	○	○		○	a 準備から討論まで積極的に取り組み、論題について、自分の考えを持とうと努めている。 b 適切な言葉遣いで、自分たちの論を述べ、相手の主張を的確に聞き取ったうえで自分たちの論の正しさを主張することができる。 d ディベートの形式・手順を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		手紙(年賀状)を書く (手紙(年賀状)の価値と必要性を理解し、実用的な手紙(年賀状)を書く技術を身につける。)	○			○	a 実用的な手紙(年賀状)を書くことに対して関心を持っている。 c 手紙(年賀状)の形式を理解し、実用的な手紙を書くことができる。 d 手紙(年賀状)の価値と必要性を理解し、基本的な書き方を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		『想像の旅』鈴木康之 (広告におけるコピーの目的と効果を理解し、想像したことを、コピーの形で表現する。)	○			○	a わかりにくい言葉・表現を辞書で調べ、理解に努め、身近な広告に用いられているコピーについて関心を持っている。 c 物や場所について自由に発想し、想像したことをコピーの形で書くことができる。 d 広告におけるコピーの目的と効果を理解している。	行動の観察 提出物の確認
3 学期	表現の 実践・表現の 探求	方言と共通語 (方言と共通語の特徴を理解し、適切に使い分ける態度を養う。)	○			○	a 日本各地域の、言葉の違いについて関心を持ち、自分の地域の言葉について調べようと努めている。 b 方言の良さを守りつつ、必要な場面では共通語を使って話そうとしている。 d 方言と共通語の特徴を理解している。	行動の観察 提出物の確認
		『日本語のレトリック』 瀬戸健一 (日常的によく使われている比喩表現の分析を通して、そのなりたちを把握し、比喩表現の分析を通して、言語の可能性を把握する。)	○	○		○	a 比喩表現について、その背後にある心理を分析しようと努めている。 b 筆者の隠喩についての見解について、自分の意見を適切に述べたり、他の人の意見を的確に聞き取ったりすることができる。 d 比喩表現について理解している。	行動の観察 提出物の確認

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力  
c:書く能力      d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。